

## 児童発達支援アンケート評価結果について

令和4年11月に実施いたしました事業所向けアンケート評価の結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。頂いたご意見をもとに、職員一同より良い支援が行えるよう努力して参ります。

事業所名 ひだまり水沢駅東

所長名 千葉 浩枝

### 環境・体制整備

利用定員数に対してのスペースや職員の配置は、基準を遵守しております。

1階と2階のスペースを十分に活用し、利用者間の関係性や情緒の安定を図る視点で配慮しました。事業所の設備等の配慮については、利用者の安全確保を図る為、玄関前にカラーコーンやバーを活用し、飛び出し防止の意識付けとなるよう設置しております。バリアフリー化については、スロープがある為、車椅子の乗り入れがしやすい状況となっております。

今年度も感染予防対策を徹底し、消毒や換気、三密を回避して過ごすよう配慮しました。

### 業務改善

業務においては、朝会や月一回の職員会議で課題について話し合う場を設け、状況報告に留めずPDCAサイクルで改善に繋げるよう取り組んでおります。児童発達支援は、今年度より開始した事業の為、評価表アンケートは初めてとなります。今回の結果を基に職員間で情報共有し、業務改善に努めて参ります。

職員の資質向上については、リモートでの外部研修や法人全体の研修への参加、また事業所内で年間の研修計画に沿って、毎月の職員会議において研修の場を設けました。

### 適切な支援の提供

相談支援専門員との連携を密に行い、保護者の要望をお聞きした上で、利用者のアセスメントを基に児童発達支援計画を作成しております。

活動計画は、個々の発達段階に合わせ取り組む内容を設定しております。支援開始前には、打ち合わせの中で職員の動きや支援方法の確認と危険予知について検討し、職員間で共通認識を図るよう努めております。翌日には支援の振り返りを行い、現状報告に留めず改善策を話し合い、次回の取り組みへ反映されるよう強化しております。

### 関係機関や保護者との連携

相談支援事業所等の関係機関とは、支援状況や家庭の状況を都度情報共有しております。また、地域の支援に繋がられるよう、移行する際には情報提供の場を設け、連携を図りながら進めていきます。保護者とは、送迎時や連絡帳に支援状況や課題等についてお伝えし、共通理解を図るようにしております。

### 保護者等への説明責任等

日頃より、保護者とのコミュニケーションを大切にし、話しやすい雰囲気作りを心掛けております。悩み等の相談には、将来を見据えた適切な助言が出来るよう努めております。地域に開かれた事業運

営については、今年度は実施しておりません。地域の方との交流の仕方について今後検討していきます。

#### 非常時等の対応

各種マニュアルについては、各委員会で見直しを行い現場で活用しやすい内容に改正したマニュアルを玄関先に用意し、自由に閲覧出来るようにしております。

非常災害の発生に備え、火災・地震・水害に関する避難訓練を年4回実施し、様々な場面を想定し避難や救出方法について職員間で確認しました。また、AED・心肺蘇生法の講習を受講し、実践に生かせるように取り組みました。

虐待防止の為の取り組みとしては、事業所内で研修の場を設け、全職員が人権擁護の自己チェック表にて振り返り、未然に防げるよう努めております。

ひやりはつとや事故・苦情等が発生した際は、朝会等で早急に検討するとともに、毎月の職員会議で、実施状況について振り返り、再発防止に努めております。

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。  
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		放デイの利用者と利用時間が異なる為、指導訓練室等のスペースは確保されています。
	2	職員の配置数は適切であるか	8		基準より多く職員を配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>下駄箱や所持品を置く場所に、本人が理解しやすいよう、シンボルマークをつけています。</li> <li>課題スペースと余暇等で過ごす場を使い分け、配慮しています。</li> <li>スロープを設置しています。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の体型に合わせたテーブルや椅子等を用意したり、排泄面の支援に必要な用具も個々の成長にあわせ、用意しています。</li> <li>毎日の清掃やこまめに消毒をし、清潔を保つよう配慮しています。</li> <li>活動内容に合わせて、区間を使い分ける等努めています。</li> </ul>
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8		朝会や職員会議等で支援内容、方法について振り返りを行い、課題の改善策について話し合う場を設けています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		年1回アンケートを実施、保護者の意向を確認し、改善に努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8		評価表の結果を全職員で共有し、話し合っています。結果については、放デイ同様に、ホームページへ掲載し、保護者には文書で配布する予定です。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		8	法人全体の取り組みとなっており、現在実施されておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		コロナ禍により、外部研修への参加は制限されていますが、ZOOMによる研修への参加や、毎月の事業所内研修、法人全体の研修を行っています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		保護者からの情報や関係機関の見学、情報共有の場を設けアセスメント内容を基に、ニーズや課題を確認し、計画書を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		個々の発達段階に合わせ、支援ツールを使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		ガイドラインに基づき、必要な支援を取り入れ、具体的な支援内容を設定しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		支援計画の内容を活動の中に取り入れ支援しています。また、継続的な支援方法となるよう、前回の情報を振り返り、活かしています。

関係機関や保護者との連携	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	毎月担当者2名で活動計画を立案し、全職員で情報共有しています。また、事前に打ち合わせをし、確認しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	季節の内容を取り入れたり、静と動、日常生活訓練や創作活動を組み合わせ、固定化しないよう工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	8	個別活動と集団活動を組み合わせ、作成するよう努めています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	朝会等で毎回打ち合わせを行い、具体的具体的な動きについて周知、確認し、支援の統一が図れるよう努めています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	気付いたことは日誌に記載するよう心掛け、情報共有できるようにしています。翌日の朝会時には、支援について振り返り、課題について、改善策を話し合い、情報を共有しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	保護者への連絡帳や職員連絡帳（日誌）に記録し、ケース記録にも記載するよう努めています。また、支援の改善を行った際は、その後の結果まで記録を残すよう努めています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	年2回（6ヶ月毎）はモニタリングを行い、支援計画の内容について話し合い、検討しています。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	児童発達支援管理責任者やケース担当等、利用者の状況に精通している職員が参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	保育園、幼稚園、幼児教室等の関係機関や相談員と連携を図っています。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	現在、医療的ケア児の利用はありません。今後利用時には体制を整えていきます。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8	現在、医療的ケア児の利用はありません。今後利用時には体制を整えていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	事業所利用前に見学し、アセスメントを取り、情報共有を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	現在はありますが、必要に応じて行っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	専門機関と連携し、研修への参加、助言を頂いています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	コロナ禍という状況もあり、行っておりません。今後、検討していきます。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	放課後等デイサービスの事業所としては参加しております。児童発達支援としての参加はまだありませんが、今後検討していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	連絡帳へ記載したり、送迎時に利用時の様子などをお伝えし、共有を図っています。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	8		保護者の悩み等をお聞きし、有効な支援方法について伝え、自宅でも取り組みやすい内容について助言を行っています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		契約時や変更があった場合等に、丁寧な説明をしています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		児童発達支援管理責任者が支援計画について、保護者の方に分かりやすく丁寧に説明し、同意を得た上で実施しています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		日頃からコミュニケーションを図り、話しやすい雰囲気作りをしています。保護者からの悩み等については、真摯に向き合い助言、支援を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2	コロナ禍により、活動は少なくなってきていますが、資源回収等活動に合わせ、出来る範囲で支援に努めています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		相談の受付者を設定し、相談があった場合には迅速かつ適切に対応するよう努めています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月事業所のお便りを発行し、ホームページでも情報発信しています。</li> <li>法人から広報を発行しています。</li> </ul>
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		職員間で周知し、気を付けています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		利用者の理解度に合わせた方法で伝えるようにしています。保護者の方へは、丁寧に説明するよう心掛けています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		8	今年度は実施しておりません。今後検討して参ります。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1	年間計画に沿って年4回の訓練（火災、地震、水害）を行い、様々な場面を想定し避難訓練を行っています。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時や面談時に、プロフィールの内容に沿って情報を確認しています。</li> <li>母子手帳をコピーさせて頂き、確認しています。</li> </ul>
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		検査結果に基づき、保護者から医師の指示を聞き取り、対応しています。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		報告書を作成し、都度職員間で報告、検討し、共有しています。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		人権擁護チェックシートで定期的に振り返る機会を設けています。事業所内研修、全体研修を実施しています。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>実施する際は、職員間で検討し、支援計画に記載することとしています。</li> <li>改善策についても職員間で検討し、支援方法を見直しています。</li> <li>保護者に事前に説明をし、同意を頂いた上で実施しています。</li> </ul>

## 児童発達支援事業アンケート評価結果について

令和4年11月に実施いたしました事業所向けアンケート評価の結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。頂いたご意見をもとに、職員一同より良い支援が行えるよう努力して参ります。

事業所名 ひだまり水沢横町

所長名 高梨 恵

### 環境・体制整備

環境スペースに関しましては個室が完備されており、個別と集団で取り組めるような構造化を環境の中に作り過ぎています。また、利用者の数に配慮し部屋を分けて過ぎています。

職員配置につきましては、管理者兼児童発達支援管理責任者1名・保育士2名・児童指導員3名・指導員1名、計7名が配置されており指定基準を遵守しております。

バリアフリー化の配慮に関しましては1階の建物となっており、玄関にはスロープも設置されています。事業所内は基本バリアフリーとなっております。

### 業務改善

個別支援計画の支援の振り返りと見直し、評価（モニタリング）を年に2回実施し、目標を達成できるよう支援の見直しを定期的に行っております。

業務改善の視点から児童発達支援事業アンケートの実施を行い、職員間で評価について改善の取り組みや検討を行っています。

また、その結果を保護者へ公表しホームページ等にも掲載しております。

職員のスキルアップを図るためそれぞれに合った研修に参加しています。事業所内研修は毎月取り組んでおり外部研修にはZOOMでの参加もしています。

### 適切な支援の提供

児童発達支援の個別支援計画に関しましては、相談員からのサービス等利用計画書を基に保護者の方から聞き取りを行い、同意を得て作成しています。またガイドラインに沿って「発達支援」「家族支援」「地域支援」等必要な項目が選択され、具体的な支援内容を記載しています。

活動プログラムはガイドラインに基づいた内容で進めております。また、利用者が楽しんで取り組めるような内容を職員で話し合い、定期的に見直しをかけチームで立案しています。

個別と集団では現在、児童発達支援をご利用の方は2名となっており集団での取り組みにまだ課題がありますが、長期休暇中の放課後等デイサービスの利用者との交流も取り入れ大きな活動などでは集団での活動も実施しています。

また日々の支援や活動については記録に残し朝礼等で毎日、打ち合わせを行い翌日には必ず振り返りを行っています。

## 関係機関や保護者との連携

必要に応じて、移行の際は移行支援会議を開催し、相談員も含めて必要な情報の共有を図り移行がスムーズにいくよう配慮しています。その際、保育所や児童発達支援事業所の見学を行っている場合もあります。

また、関係機関との連携も大切にしており、重要な情報は保護者へも伝達するようにしています。

ご利用の際は連絡帳以外にも申し送り丁寧な説明を心掛けております。支援で上手くいったことは保護者へ情報提供し、保護者の悩みに対しても一緒に考える体制作りを目指しています。

## 保護者への説明責任等

運営規程、利用者負担、個別支援計画についてはなるべく丁寧に説明するよう心掛けており、個別支援計画については保護者からのニーズも取り入れ同意を得て作成しています。

保護者からの相談には常に応じるように努力しています。また、支援方法についても分かりやすい説明を心掛けています。

父母会の活動は現在、コロナ過と言う事で動きがなかなかない状況ですが、職員もサポート出来る体制を作っており役員を選出し保護者の活動を支援しています。

お子様の事業所での様子を保護者へわかりやすく理解して頂くため、毎月事業所からだよりを発行しています。年に数回、法人からも広報を発行しております。

個人情報の取り扱いには十分配慮し、定期的に職員へ周知徹底しております。

## 非常時等の対応

事業計画に反映させ年4回避難訓練を実施しております。地震・火災等の想定し得る避難訓練を行い職員、利用者共に合同の訓練を行っております。

緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアル等の各マニュアルに関しては事業所玄関付近に設置しております。

個々の利用者のアレルギーや疾患については面談時に聞き取りを行い、対応しています。必要に応じて医師からの指示書をいただき対応する場合もございます。

ひやりはつとに関しては、記録に残し、職員間で改善について話し合いの時間を設け、事故防止に努めております。

虐待については年に4回職員に人権擁護チェックを実施しており、支援や対応について振り返りの場を設けています。また、身体拘束が必要な場合には十分な話し合いのもと、保護者の方へ説明を行い、2人以上での対応で行います。その際は必ず記録に残し、改善策を話し合う場を設けます。

## 満足度

ひだまり水沢横町事業所では100%という結果で保護者の方から「事業所の支援に満足しているか」の回答に「はい」と答えていただいております。今後もこの結果に甘える事がないよう満足度の継続を目指し、利用者が「行きたい」保護者が「預けたい」と思ってもらえる事業所を目標に職員一同切磋琢磨し運営に努めて参ります。

## 事業所職員向け

## 児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7件		活動により、数か所の部屋を用意しています。利用者の数に配慮し部屋を分けて過ごしています。
	2 職員の配置数は適切であるか	7件		・保育士2名を配置し、担当をつけ対応しています。 ・規程の配置基準を遵守しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7件		構造化されており、1日のスケジュールを絵カードを使って毎日取り組んでいます。事業所は1Fのバリアフリーになっています。保護者や関係機関とは常に情報の共有が出来るような体制を作っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7件		・毎日清掃と消毒を行っています。 ・使用するイスやテーブルの下に滑りずらくする為や転倒防止の為のマットを使用しています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7件		毎日の朝礼、職員会議等で支援の振り返りと見直しを行い業務の改善を行っています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7件		年に1回保護者向けの評価表を配布し、保護者のニーズを把握し業務改善に努めています。なるべく多くの保護者からの回答をお願いします。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7件		・保護者へ評価表の結果と回答を配布し公開しています。 ・事業所玄関に結果を掲示している。 ・ホームページで公開している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		7件	現在、第三者による外部評価は受けていません。 第三者委員会、顧問弁護士を招き、苦情・ひやりはっと・事故について報告会を行い、改善に努めているところが現状です。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7件		・毎月スキルアップを図るため、それぞれに合った研修に参加しています。 ・事業所内研修では毎月の職員会議で取り組んでおり・外部研修にはZOOで参加しています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7件		保護者からのニーズや課題は、相談員と連携を取りアセスメントを行い、保護者に確認してから児童発達支援計画に反映させ作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7件		・児童発達に合った独自のアセスメントツールを使用し支援しています。 ・アセスメントツール等を使用して、利用者の状況を把握しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7件		・ガイドラインに沿って個々に必要な支援の項目が選択されており。 ・支援計画には保護者にも分かりやすく理解して頂けるような具体的な内容で記載するように努めています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7件		職員間で共有し日々計画に沿った支援を行っています。



	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7件		・活動プログラムはチームで立案し児童発達に向けた活動を準備しています。 ・チームで輪番制で行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7件		日々、新たな活動を取り入れ工夫し作成しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7件		現在2名の登録の為、集団活動は難しい状況ですが2名でも関わりが持てるような活動を立案してます。個別の取り組みはアセスメントと支援が出来るような内容で立案しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7件		朝礼で毎日必ず打ち合わせを行い、情報の共有を図り役割について話し合いをしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7件		翌日の朝礼で必ず毎日、支援の振り返りを行い業務の改善を行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7件		毎回利用の際は記録を取り保護者へも渡しています。支援の検証は記録を見ながら行っています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7件		定期的にモニタリングを行っています。必ず保護者と相談しながら行っています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7件		必ず児童発達管理責任者またはそれに精通する者が参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7件		相談員を通じて関係者や関係機関と連携を取りながら支援を進めています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1件		・6件無回答 ・現在対象となる利用者はいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1件		・6件無回答 ・現在対象となる利用者はいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7件		移行利用の際は移行支援会議を行い関係機関と情報の共有を図り進めています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7件		移行する際は、移行支援会議の場を設け情報の共有を図ります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7件		・必要に応じて連携を取り情報の共有を図っています。 ・事業所見学も行い助言も頂いています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7件		コロナ過と言うこともあり、なかなか交流する機会を作ることが難しい状況です。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7件		児童発達支援管理責任者が部会の情報交換会等に参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7件		お迎えの時間にしっかりと申し送りの時間を設けています。又必要に応じて面談の時間を作ります。都度、課題への取り組み方を伝えています。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	7件		ひだまりで支援した内容、うまくいった取り組みの内容は常に保護者へフィードバックし必要なツール等は提供していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7件		・契約時に説明を行っております。不明な点がありましたら、職員までご確認ください。 ・変更点があった際には速やかに周知しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7件		児童発達支援ガイドラインに沿って支援計画を作成し保護者へ説明し同意を頂いています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7件		常に相談に応じて対応しています。保護者の子育ての悩みや支援方法について助言しています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7件		保護者会をサポートする体制を作るため職員間で役員を選出しています。保護者会の活動を支援しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7件		常に子供や保護者からの相談には応じるよう心掛けています。申し入れがあった場合は時間を設けて対応していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7件		毎月だよりを発行しています。活動内容や取り組みについて、だよりの中に反映させて発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7件		職員間で周知し常に指導し取り組んでいます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7件		・連絡帳や申し送り、電話等で対応しています。必要があれば面談の時間を設けています。 ・利用者や保護者に合わせた分かりやすい伝え方をするように意識しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7件		コロナ過で地域の方々を招待することが出来ませんでした。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7件	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7件		定期的に活動に取り入れて職員と利用者で訓練を行っています。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7件		保護者から契約時や面談時に聞き取りを行い母子手帳の提出をお願いしています。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7件		アレルギーのあるお子様に関しては、母からの情報をもとに必要なに応じて医師の指示書を用いて対応します。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7件		ひやりはっと報告書を作成し共有しています。保護者にはだよりでお知らせしています。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7件		毎年研修会を設けています。また人権擁護チェックを実施し振り返りの場を設けています。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7件		・身体拘束を行う際は組織で検討し、やむを得ず行わなければならない時のみとし、行った際は必ず振り返りを行い利用者が落ち着いて過ごせるような支援方法を検討しています。 ・職員間で検討し、保護者からも了解を得ています。個別支援計画書にも記載しています。

## 児童発達支援アンケート評価結果について

令和4年11月に実施いたしました事業所向けアンケート評価の結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。頂いたご意見をもとに、職員一同より良い支援が行えるよう努力して参ります。

事業所名 ひだまり水沢☆きらり

所長名 伊藤 恵美

### 環境・体制整備

その日の利用者様によって、指導訓練室と和室も使用することで、スペースを有効に活用することができております。また、玄関に車いす用のスロープを用意し、スムーズに乗り入れが可能となっております。バギーや座位保持装置を使用し、座位で活動ができるよう対応しております。

職員配置につきましては、指定基準を遵守しておりますが、利用者様の利用増加と職員の休職、退職があり人手不足になることがありました。直ちに対応し支援にあたっております。

### 業務改善

日々の支援、業務の振り返りを基に、PDCA サイクルに沿って、職員間で話し合いを持ち、業務改善に努めております。今後も職員全員がスキルアップを目指し、より良い支援を行えるよう努めて参ります。

研修については、事業所内での医療的ケアの研修や、外部の研修にリモートで参加し、スキルアップに努めております。全員が理解を深めるため、伝達研修を設けております。研修を通し支援に役立てていけるよう努めて参ります。

### 適切な支援の提供

ご家庭から頂いた情報や、研修で学んだ事柄、日々の支援から気付いたこと等を職員間で話し合い、年2回のモニタリングにつなげております。分からないこと、不安なことをそのままにせず、その日のうちに職員間で話し合い、必要な時には保護者様に確認をするように努めております。医療的ケアについては、主治医、嘱託医、看護師と情報共有し日々、学んでおります。又、理学療法士によるリハビリ、臨床動作法による訓練等利用者さんの将来を考え、出来る範囲で支援しております。

### 関係機関や保護者との連携

相談支援事業所や保育園、子ども家庭科、訪問看護ステーション等、関係機関との連携を取り、常に情報共有を図っております。保護者様とは連絡帳や送迎時に利用時の様子等を伝え、良好な関係性を持てるよう努めております。月に2回、嘱託医、理学療法士の先生方に来て頂き、保護者様の相談にも乗って頂いております。

### 保護者等への説明責任

内容については、必要に応じて丁寧に説明するよう努めております。日々行っている動作法訓練や、月2回のリハビリ等について内容説明を行っております。また、日頃より保護者様とは積極的に話すようにし、悩み等の相談に耳を傾け、適切な助言ができるよう心掛けております。

地域に開かれた事業所運営については、コロナ禍の為、地域との交流は難しい状況でした。利用者様が重症心身障害児・医療的ケア児ということもあり、感染症対策を強化しながら行える内容等考えていきたいと思っております。

### 非常時の対応

各種マニュアルについては、事業所入り口で閲覧できるようにしており、契約時にも説明をしております。避難訓練につきましては、年4回実施いたしました。また、災害時に必要な発電機も事業所で準備し、医療的ケアが必要な方の電気の供給が可能となっております。今後、災害が起きた場合事業所を含め、どこに避難をするか、保護者様の希望等を確認し、個別支援計画にも盛り込んで参ります。

虐待防止のための取組みとしては、定期的に全職員が人権擁護のチェック表にて振り返りを行っております。その中で、身体拘束に関しては、座位保持装置、車いす、ベルト、テーブル等は障害児の身体状況に合わせて変形や拘縮を防止し、体感を安定させることで活動性を高める目的であり、身体拘束に当たらないこと、但し、長時間使用する行為は身体拘束に値するので使用する場面、目的、時間等を職員間で確認し、親御さんにも了承を得ております。

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6件		7人同時間に預かった時は、和室を使用したり、活動に応じパーテーションを使用するなどをし、工夫している。規定は満たしているが、狭く感じる時もある。
	2	職員の配置数は適切であるか	4件	2件	規定は満たしているが、休職、退職する職員がいるため、職員が不足している。調整中である。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6件		バリアフリーにリフォームされている事業所なので今は問題がない。車いす用のスロープを設置している。視覚的に伝えることで、部屋の入出を分かり易くしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6件		毎日、掃除をし、消毒等の対応をしている。普通の家ではあるが、楽しく活動に参加している。冬はトイレが寒いことが課題。感知式電気ストーブでの対応をしているが、利用者様がやけどしないよう配慮している。午睡時は、和室にカーテンをし、薄暗くしている。活動時は、カーテンを開け対応している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6件		毎朝の朝礼と月1回の職員会議で定期的にモニタリングを持ち、確認している。職員全員で都度振り返りを行い、改善に努め、共通理解を図り、支援につなげている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6件		保護者の意向をできるだけみ取れるよう努力している。常に保護者様と情報共有している。要望はできる限り聞いている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6件		法人のホームページ等で公開している。書面で渡している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6件	内部監査を受け指摘事項はなかったものの改善すべき事項はする準備ができていない。外部評価は受けたことがなく、今後の課題である。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6件		朝から夕方まで利用者がいるため、全員参加での研修を受ける機会が持てないが、進んで参加している。リモートでの外部研修、事業所内での内部研修を行っている。
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6件		保護者様との話は大事にし、話しやすい環境を作っている。面談等でアセスメントを行い、個別支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6件		研修で得た情報、知識をこの事業所で使えないか話し合い、活用している。アセスメントシートの活用を活用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6件		職員会議で読み合わせをし理解を深め計画に入れ支援をしている。必要な項目を選択し、具体的に設定されている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6件		個別支援計画一覧を壁に貼り、常に目をとめ支援している。

な 支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5件	1件	月の担当者が立案したものを職員間で話し合って決定している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5件	1件	常に話し合いを重ねている。 リハビリ、動作法訓練等、固定化しているもの以外は、色々なことが経験できるように工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6件		身体面や、発達面で違いがある為、職員間で話し合いをし、全員活動に参加できるように作成している。 全体の活動と一人ひとりのリハビリ等を組み合わせ作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6件		毎朝朝礼にて打ち合わせを行い確認している。 気が付いた時に、随時行う時もある。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気が付いた点等を共有しているか	6件		利用者送迎後や翌朝、朝礼で振り返りを行い、情報の共有をしている。 支援で気になる内容は、記録に残したり、その日や翌日に話し合っている。 職員会議にて情報共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6件		本人がどのような様子だったか、記録するように徹底している。ケース記録、日誌等に記録し、会議等で検証、改善につなげている。
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6件		6ヶ月ごとにモニタリング、計画の見直しを行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6件		管理者、看護師、児発管が利用者に合わせて会議に参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6件		必要な時に必ず連携会議を開いている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6件		定期的に連携会議を開いており、必要な時には連絡を取っている。 病院、訪問看護、保健師、保育園等と連携を取りながら支援を行っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6件		保護者さんからの経由が多いが、必要時は必ず協力体制を取り、対応している。 連絡体制は整えている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6件		保育園との併用利用児は送迎のことも含め、連絡をごまめに取りあっている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6件		送迎時に先生とその日の様子を聞いたり、事業所の様子を伝えている。 連絡帳を見せあいながら情報共有を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6件		子育て支援センターとは連携はしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6件		コロナ禍なので、機会を設けていない。 コロナが落ちついたら、機会を設けたいと考えている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6件		地域自立支援協議会、医療的ケア児等支援部会の部長として管理者が参加している。 自立支援協議会、療育部会情報交換会に児発管が参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6件		連絡帳に日頃の状況を伝えたり、送迎時等に本日の様子(活動等)を口頭で伝え保護者様からのお話も聞いている。積極的に関わりを持ち、発達状況や課題について話し合いをしている。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5件	1件	法人でペアレント・トレーニングを行っており、参加を呼び掛け、参加につながっている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6件		契約時に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6件		計画書を作成した時に保護者様へ説明、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6件		モニタリング時、その他事業所に来た時に行っている。 嘱託医の先生が月に2回来所し、保護者様の相談に乗っており、職員も情報共有している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3件	3件	可能な限り、行事の時は事業所に来るよう、声掛けをするが、コロナ禍の為、自粛をしている。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6件		職員全員に周知し、保護者様の立場に立って考えている。 申し入れがあった場合は、都度迅速に対応できるよう職員間での情報共有、話し合い等を行っていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6件		毎月1回、お便りを発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6件		個人ファイルは、鍵付きの書庫に保管している。 常に注意を払うよう心掛けている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6件		この子は絶対分かっていないと思って接している。 日頃より言葉遣いに配慮をして対応している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1件	5件	コロナ禍において今年度は行っていない。 落ちつき次第、地域との交流の場を設けたいと考えている。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6件	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6件		年4回避難訓練を行っている。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6件		母子手帳の確認、保護者様への聞き取りを行っている。 契約時に確認をし、服薬が代わった時など、都度新しい情報を頂いている。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6件		食物アレルギーの子がいないが、保護者様に確認を取っている。 医師の指示書がある場合には、指示書に基づいて支援を行う。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6件		報告書を作成し、迅速に職員間で話し合いを行っている。 事例集はないが法人として共有している。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6件		法人で委員会を開いている。月3回人権擁護チェックを行い、振り返りをおこなっている。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6件		車イスに関しては保護者に同意を得ている。 身体拘束の同意をとっている利用者はいないが、必要に応じて対応していく。

## 児童発達支援アンケート評価結果について

令和4年11月に実施いたしました事業所向けアンケート評価の結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。頂いたご意見をもとに、職員一同より良い支援が行えるよう努力して参ります。

事業所名 ひだまり胆沢

所長名 小原 美智江

### 環境・体制整備

出入り口の重い扉、小上がりでの段差、トイレなどにつきましては常に職員が見守り、声掛けを行い安全面に配慮しております。利用を希望される利用者様、保護者様には必ず見学して頂き、胆沢総合支所の一角をお借りしていることで、バリアフリー化の改修が難しい事をご説明しています。

職員の配置につきましては、指定基準を上回る配置となっており、保育士、介護福祉士、社会福祉士、教諭資格を有している職員もおおり、専門的な知識や視点からの支援が提供できるよう心掛けております。

### 業務改善

PDCA サイクルに基づいてアセスメント、振り返りを行い、常に職員間で支援方法や手順について話し合いを繰り返し、より良い支援について確認を行い実践に繋げております。事業所内外の研修に積極的に参加し、得た知識を伝達し、共に学び、共に向上する姿勢を保ちながら専門性を高め実践に繋がられるよう、日々スキルアップに努めております。

### 適切な支援の提供

朝礼や職員会議で利用者様の様子や支援内容について情報を共有し、統一して支援が提供できるように心掛けています。利用者様のニーズや特性を理解し、自己選択、自己決定の力を育むことが出来るよう一人一人に寄り添った支援を行っております。それぞれの発達段階に応じた支援方法を確認しながら実践できるよう努めてまいります。

### 関係機関や保護者との連携

利用者様の状況に応じて幼稚園、相談支援事業所、関係機関との支援会議や情報交換会に参加し連携を図ってきました。情報交換での内容はアセスメントとして適切に記録に残し、職員間で周知し、支援計画や支援方法に活かしていきます。保護者様にはお迎え時や連絡帳、必要に応じて電話にてその日の様子を詳しくお伝えし、情報を共有しております。



#### 保護者への説明責任等

運営規定、支援内容、料金につきましては、職員全員が説明できるよう、朝会や職員会議で研修を行い、契約時、変更時、保護者面談の際などに解りやすい説明を心掛けてきました。利用者様の成長の為にどういった支援が必要なのかを確認するためにも、今後も必要に応じて面談を実施していきます。

地域に開かれた運営につきましては、利用者様の手作りのプレゼントを、地域の老人福祉施設へ届ける活動を行っており、お便りなどでお知らせいたしました。

#### 非常時の対応

緊急時対応について確認を行い、保護者様にもお便りなどでお知らせしました。年4回の避難訓練の実施、国土交通省の防災カードや危険予知活動を通して防災に関する知識を深める機会を設けてきました。感染症に関しましては文書やお知らせ版で講じている対策についてお伝えしてご協力を頂きました。また職員全員でAED講習を受け、事業所内研修で消火器訓練を実施し、管理者は甲種防火管理講習を受講しました。

虐待防止や安全感染症委員会の会議に出席した職員が報告を行い職員間で周知しております。人権擁護については3カ月毎に自己チェックを行い、振り返りを行っております。今後も安全面に十分配慮した支援を提供できるよう、最新の情報を更新し、発信していけるよう心掛けていきます。

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100% (6件)		ワンフロアの為、状況や個々の特性を配慮しながら工夫している。パーティションや小上がりを活用している。
	2 職員の配置数は適切であるか	100% (6件)		急病などの時は応援を頼める体制になっている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100% (6件)		活動ごとに配置を変えたり、宿題をする場所、本を読む場所など視覚でもわかりやすく構造化の工夫をしている。庁舎の建物である為、改修などは出来ないが、段差があるところなどでは見守りや声掛けで対応している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100% (6件)		換気、消毒、清掃を丁寧に行っている。活動に合わせて構造化を行っている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100% (6件)		PDCAの研修を行い職員が理解したうえで会議に参加し、朝会、個別支援会議で話し合い、振り返りを行っている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100% (6件)		今年度から取り組み始めた事業である為、今後要望など詳しく聞き取りを行いながら出来るだけに意向に添えるように努めていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100% (6件)		今回初めての評価を受ける為、意向を把握し、公表し、業務改善に努めていく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		66% (4件)	無回答2 第三者機関による外部評価は未実施で、法人全体の取り組みとして検討中。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100% (6件)		毎月の職員会議に内部研修を行い、外部研修に参加した職員から伝達研修を皆で受けている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100% (6件)		保護者、支援センター、幼稚園との情報共有を行い、ニーズを把握し、職員同士で話し合って計画を立案している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100% (6件)		職員同士で話し合い、個々の発達年齢に合わせたツールを使用している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	83% (5件)		無回答1 ガイドラインを確認しながら、本人、家族、地域の支援を組み合わせる支援内容を設定している。

	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	83% (5件)		無回答1 職員間で確認し、共通理解を深める事で適切な支援を行えるよう努めている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100% (6件)		毎月の担当者が立案し、最終決定は職員間で話し合っ決めている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100% (6件)		立案する職員が毎月が変わる為、固定化されない。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100% (6件)		個々のスキルに合わせ、自己選択、自己決定できるよう作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100% (6件)		朝礼で確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100% (6件)		終了時に確認できない場合は翌日の朝礼で確認している。口頭で難しい場合は職員ノートや、日誌にて個々に確認している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100% (6件)		日誌、連絡ノート、個別のケースに記録し個々に確認、朝礼、職員会議で確認している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100% (6件)		年2回モニタリングを実施して、振り返りを行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100% (6件)		担当職員が参加し情報共有を行っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	67% (4件)		無回答2 子育て支援センターや幼稚園などの関係機関と情報共有している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	83% (5件)	17% (1件)	無回答3 現在利用者はいないが必要に応じて連携できる体制づくりを行っていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	50% (3件)	17% (1件)	無回答2 現在該当する利用者はいないが必要に応じて連携できる体制づくりを行っていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100% (6件)		子育て支援センターや幼稚園などの関係機関と情報共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	67% (4件)	33% (2件)	現在利用者はいないが必要に応じて連携できる体制づくりを行っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	83% (5件)		無回答1 今後連携していけるよう体制づくりを行っていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	33% (2件)	50% (3件)	無回答1 コロナ禍で行えていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	83% (5件)		無回答1 児童発達支援管理責任者が参加し、他職員へ伝達している。

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100% (6件)		連絡帳や迎え時にその日の様子を口頭で詳しく伝え、出来たことを確認し、次の課題について話し合っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	83% (5件)		無回答1 ペアレントトレーニング開催の案内をした。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	83% (5件)		無回答1 契約時、変更時に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	83% (5件)		無回答1 ガイドラインを確認しながら、支援計画を作成し同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83% (5件)		無回答1 相談があった際には、傾聴に努め、どういった支援が必要か職員間で相談しながら助言を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	67% (4件)	17% (1件)	無回答1 コロナ禍の為開催していないが、必要に応じて連携がとれるよう支援を行っていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100% (6件)		相談があった場合は職員間で内容を共有し、話し合いをして適切な助言が出来るよう体制を整備している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100% (6件)		法人の広報や月一回のお便りを発行し、情報発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100% (6件)		マニュアルに基づき、また細心の注意をはらって取り扱っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100% (6件)		個々に応じたツールを用いて、意思の疎通が図れるような対応を心掛けている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33% (2件)	50% (3件)	無回答1 コロナ禍の為現在は行っていないが、今後地域と連携を図る為に計画していく。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	83% (5件)	
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100% (6件)		年に4回実施している。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100% (6件)		母子手帳のコピーを頂き保管している。予防接種を受けた際にはお知らせ頂いている。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100% (6件)		事前に情報を頂き、医師の指示書がある際には確認し昼食、おやつ提供時には細心の注意をはらっている。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100% (6件)		確認、検証、改善策を話し合っている。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100% (6件)		法人、事業所で研修を行い、虐待防止委員会の報告を受け、振り返りを行っている。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	83% (5件)		無回答1 保護者に書面、口頭で説明を行い、支援計画に記載している。また止むを得ず身体拘束を行う際の三原則について職員間で周知、確認している。